

## 平成25年度第1回病院・薬局関東地区調整機構委員会（総会）議事録

日 時：平成25年6月11日（火）14：00～15：55

場 所：慶應義塾大学薬学部1号館 マルチメディア講堂

出席者：関東甲信越1都9県薬剤師会委員10名及び病院薬剤師会委員10名（他オブザーバー1名）、日本保険薬局協会委員1名（他オブザーバー1名）、日本病院薬剤師会委員1名、東京都薬剤師会委員1名、23大学委員42名（代理4名、オブザーバー4名を含む）、薬学教育協議会代表理事及び調整機構事務局長、文部科学省2名、厚生労働省1名

司会進行：伊東副委員長

### 1. 報告事項

#### 1) 薬学教育協議会報告（望月）

資料1-1～-4に基づき報告があった。

##### (1) 平成25年度認定実務実習指導薬剤師養成ワークショップ開催日程（資料1-1）

関東地区だけで14回を予定している。

##### (2) 薬学教育協議会 第20回病院・薬局実務実習中央調整機構委員会（資料1-2）

- ・教員の訪問指導のあり方（多すぎる／少なすぎる、勉強不足、無関心など）に問題を指摘されるケースがある。
- ・指導薬剤師の異動に伴い行き先不明になるケースがある。
- ・指導薬剤師の質に問題があるケースがある。
- ・実習に対する取り組みに施設間格差や大学間格差がある。
- ・実習時の指導のあり方について。

##### (3) 薬学教育協議会 第21回病院・薬局実務実習中央調整機構委員会（資料1-3）

監事監査報告について、本部と支部との関係や責任体制の明確化について議論されたことが報告された。

#### 2) 平成26年度病院・薬局実務実習割り振り日程（資料2）（中村）

資料2の通り、病院および薬局の実習割り振りの通り進めることが報告された。

#### 3) 平成26年度他地区からのふるさと実習受入れ日程（資料3-1）（中村）

- ・関東地区の割り振り日程（資料2）に準じて受入れる。
- ・東京、埼玉、千葉および神奈川の薬局実習は第2回目の割り振りから受入れる。
- ・平成26年度他地区へのふるさと実習申し込み（資料3-2）（中村）
- ・各地区で受け入れ可能だが、日程は不統一で今後の課題である。
- ・九州、北海道および東海地区は後日案内が来る予定。

#### 4) 関東地区調整機構ホームページの開設（資料4）（永田）

- ・ホームページの概要説明があった。
- ・各大学にリンクできるようにし、6月末には公開予定。実習風景の写真を募集中。

- ・指導薬剤師を登録して、異動先を検索可能にしてはどうか。
- 5) 平成 24 年度第 3 期実務実習実施状況 (資料 5)
- ・全地区調整機構に挙げられた報告書から、実習中の就職活動、学生の態度、大学教員の訪問、指導薬剤師とのトラブルなどの問題が紹介された。
  - ・ある特定の大学の学生受入れ拒否に関する、地域薬剤師会の「決議文」について今後の審議事項とした。
- 6) 平成 26 年度実務実習実施日程 (資料 6) (中村)
- 六者懇で決定された実施日程が紹介された。
- 7) その他
- 特になし

## 2. 委員長・副委員長などの選出

### 1) 関東地区調整機構委員長の選出

委員長は伊東明彦教授 (明治薬大) (委員の互選による) に決定した。

### 2) 関東地区調整機構副委員長の指名

副委員長は花輪剛久教授 (東京理大) (新委員長の指名による) に決定した。

### 3) 常置委員会委員長、副委員長の報告

(1) 大学小委員会 委員長: 櫻井正太郎教授 (星薬大)、副委員長: 加藤裕久教授 (昭和大)

(2) 病院小委員会 委員長: 橋本真也氏 (神奈川県病院薬剤師会)

副委員長: 高橋利幸氏 (茨城県病院薬剤師会)

(3) 薬局小委員会 委員長: 鶴飼典男氏 (神奈川県薬剤師会)

副委員長: 上野浩男氏 (東京都薬剤師会)

### 4) 特別委員会委員の報告および委員長、副委員長の選出

(1) トラブル小委員会 委員長: 三原 潔教授 (武蔵野大)

副委員長: 畑中典子氏 (埼玉県薬剤師会)

(2) 指導薬剤師養成委員会 委員長: 小佐野博史教授 (帝京大)、副委員長選出は保留

### 5) 委員長指名の運営委員の承認

(1) 薬局関係 永田泰造氏 (東京都薬剤師会)

(2) 病院関係 森田雅之氏 (日本病院薬剤師会)

## 3. 審議事項 (以後は伊東新委員長、新運営委員により議事を進行)

### 1) 平成 24 年度第 2 回病院・薬局実務実習関東地区調整機構委員会議事録

資料 7 に基づき、平成 25 年 2 月 18 日に行われた総会議事録が承認された。

### 2) 平成 24 年度事業報告

資料 8 に基づき、関東地区調整機構病院・薬局実務実習平成 24 年度事業報告が行われ、承認された。

### 3) 平成 24 年度決算報告

- ・資料 9 に基づき、関東地区調整機構病院・薬局実務実習平成 24 年度決算報告が行われ、承認された。
- ・24 年度決算はわずかに黒字であったが、今後は AWS やホームページ作成料の支払いなどにより赤字に転じる可能性あり。

### 4) その他

(1) 平成 25 年度第 I 期実務実習において、神奈川県薬剤師会大和・綾瀬薬剤師会より決議文が関東地区調整機構委員長宛に送付されてきた。

内容：平成 26 年度実務実習で 2 校の学生の受け入れを拒否する。

対応：関東地区調整機構トラブル小委員会にて事実関係を調査し、大学小委員会での対応を検討する。

(2) エリア外での集合研修について議論された。

事例：卸や製薬メーカー工場の見学を予定（千葉市薬剤師会）

チェーン薬局での宿泊研修に対する大学の許可は個別に行った(横浜市薬剤師会)

千葉科学大：許可

東邦大：薬局実習外のことは許可しない方針だが許可した

城西国際大：許可（ただし交通費は薬局負担）

千葉大：薬局実習の一環として許可した

議論：薬局実習は一薬局完結型を原則とすべきで、エリア外での集合研修が、薬局実習として必要かどうかを明確にすべきである。

大学として指針を示すべきである。薬局側は良かれと思って行っているの、大学側が遠慮せず意見を述べるべきである。

エリア外実習についての明確なルールは無い。今度大学側で検討する必要あり。

(3) 割り振り後の実習中止の情報がない。本来は調整機構が情報を把握してエリアに連絡すべきである。（薬局小委員会）

(4) ・各施設の受入数や割り振り数のデータを開示して欲しい。（茨城県病薬）

- ・関ブロでアンケート調査により、直接契約のデータ調査は可能。
- ・提携病院の指導薬剤師の動向を調整機構は把握すべきである。
- ・調整機構主催で WS を行うべきではないか。

(5) 指導薬剤師の更新について検討すべきである。（千葉県病薬）

第 1 期の指導薬剤師は、平成 28 年に半数以上の任期が切れる。

(6) 大学教員の薬局訪問回数が大学によって大きく異なる（神奈川県薬）

- ・薬局との連携について各大学はどのように届け出ているのか要確認
- ・質の悪い薬局について大学は指摘すべき
- ・大学は施設側に明確な連携の方向性を伝えるべき
- ・あまり訪問回数の問題ではないのではないか

(7) 8 月 31 日に行われる関東ブロック学術大会（新潟市）にて、「病院実習のさらなる向

上を目指して」というシンポジウムが行われる。

(8) 6年制教育での実務実習が3年目を向かえ、実習の質向上について今一度考える時期に差し掛かっている。

閉会に当たり、丸岡 充氏（文部科学省）ならびに海老原卓志（厚生労働省）より挨拶があった。